

キャリア発達段階表

～安定した職業生活を目指して～

兵庫県立西神戸高等特別支援学校



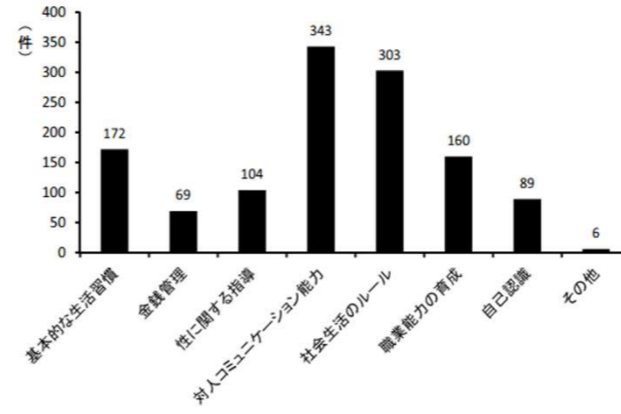
就労準備性ピラミッド

独立行政法人
高齢・障害者・求職者雇用支援機構
就業支援ハンドブック引用

※ 就労準備性ピラミッドをベースに、安定した職業生活を送るために必要な力をコンピテンシー領域とし、教育活動全体で意識し取り組んでいく。

特教研C-87
特別支援学校(知的障害)高等部における軽度知的障害のある生徒に対する教育課程に関する研究
～必要性の高い指導内容の検討～ Q66 図 II-5-4

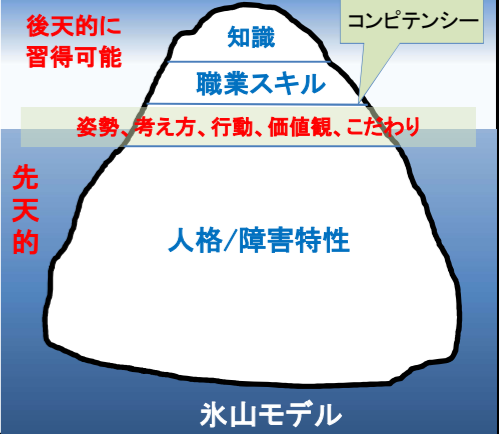
基本的な生活習慣 … 起床、時間管理、休職意識、身嗜み
金銭管理 … 日常金銭管理、カード知識、金銭価値性に関する指導 … 異性との距離感、スーター、結婚、妊娠
対人コミュニケーション能力 … 相互理解、意思表示、言語理解
社会生活のルール … 規範意識、遵法意識、公共意識、メモ習慣
職業能力の育成 … 職種理解、組織理解、休暇取得
自己認識 … 自己の障害理解 (何が苦手なのか知る・言える)
職業自立と社会自立をバランスよく働くこと、学ぶこと、生活することを通して職業自立と社会自立を実現していく必要がある。



「competency」コンピテンシー

職務を遂行し継続するために必要な能力は、人格や性格、才能などの「先天的」なものと、知識やスキルなど「後天的」に習得するものとに分けられるが、仕事上の業績と継続していくため力と結びつきの強いファクター、つまりこの能力は、右図の氷山モデルに喩え、水面すれすれのところに見え隠れするように存在する部分といえる。

コンピテンシー部分の知識習得と具体的な体験の積み重ねが、今後の職業生活上で発生する様々な事象を、自分の力で処理していく(防衛機制)の力を高める。



1年生 2年生 3年生

連携

領域	1年生	2年生	3年生
職業適性 作業の能力、正確さ、速度、 創意工夫、クオリティーなど	♣ 役割の理解 職業や働くことへの興味関心を深める	分業・協業の仕組みと役割との関係理解	主体的に自己の役割・責任を果たす
	◆ 情報⇒知識 身の回りのさまざまな情報への関心	社会的な様々な情報の収集と選択(知識)	情報活用力の向上(知恵)
基本的労働習慣 ビジネスマナー 報告・連絡・相談、 規則の厳守等、職場のルール	♠ あいさつ言葉遣い あいさつ・言葉遣いの習慣化	あいさつ・言葉遣いの自発性を高める	TPOに応じたあいさつ・言葉遣いの獲得する
	♠ 報告・連絡・相談 報告・連絡・相談の必要性を理解	報告・連絡・相談の習慣を身に付ける	自発的に報告・連絡・相談を行う
	♠ 遵法意識 法や社会的決まりマナー等の知識の習得	日常生活・体験活動の中での体得	集団でのルールを遵守する自発性を養う
社会生活能力 対人関係 コミュニケーション、協調性 身だしなみ、意思表示	♠ 人とのかかわり 集団活動への積極的参加	集団活動での役割認識・他者理解	他者の考えや個性の尊重 集団内での役割遂行
	♠ 清潔・身だしなみ 清潔、身なりを整えることの目的を理解する	清潔、身だしなみの習慣化を図る	TPOに応じた身なり服装を自分で出来る
	♠ 意思表示 日常生活での意思表示の獲得	社会生活に必要な意思表示	自ら相談し支援を求める自己表現ができる
日常生活管理 基本的生活リズム 規則正しい生活、就寝起床 地域生活等、金銭管理、買物	♥ 習慣・マナー 家庭や学校における基本的生活習慣作り	誘惑に負けない規則正しい生活習慣	社会人として必要なマナーの理解
	♣ スケジュール 学校での日課、スケジュールの確認	家庭・学校での中長期スケジュールの管理	目標に向けた計画とスケジュール管理
	◆ 金銭の扱い 体験を通じた金銭の大切さの理解	消費生活の基本的理解	労働と報酬の関係の理解と計画的な消費
心と身体の健康管理 正しい食事と健康管理 服薬 通院 職場での心のフォロー	♥ 健康管理 健康に対する意識を持つ 運動の習慣化	健康管理、作業に必要な体力を付ける	職業生活に必要な体力を身につける
	♣ 休職意識 有休の意味、種類、取得方法の知識習得	学校生活・体験活動中の休職取得の確率	ワークライフバランスを考慮した自立の意識
	◆ 振り返り 気持ちの把握 自分の落ち着かせ方	課題解決のための選択肢の活用・模索	課題解決のための自己調整力の育成
「働きたい」という意欲 自己認識 なぜ働くのか意識の確立 社会人としての自己実現	♥ 自分を知る 自分や他人のよさの気づき	主体としての自己(self-as-knower)を知る	客体としての自己(self-as-known)を知る
	♥ 夢・目標 あこがれ・夢・目標 ⇒ 意欲的活動	将来への夢 大人への憧れ 目標の設定	進路希望の具体化 新生活への期待と目標
	◆ 選択・決定 遊びや活動の選択 自分への問いかけ	自分の個性にあったよりよい選択	社会生活を意識した正しい自己決定力の育成
	♣ やりがい 役割の理解と実行	体験の積み重ねによる仕事に対する理解	働く意識と自分の適性への理解
「働きたい」をサポートする力	◆ 社会資源の活用 社会・職業生活で起こるトラブルを理解する	働くを支援する機関について知識を深める	相談し支援を求める姿勢を身に付ける

コンピテンシー領域

企業
学校
家庭
医師
支援機関

人間関係形成・社会形成能力

『多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し今後の社会を積極的に形成することができる力である。』

具体的な要素
○他者の個性を理解する力 ○他者に働きかける力
○コミュニケーション・スキル ○チームワーク
○リーダーシップ

自己理解・自己管理能力

『自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。』

具体的な要素
○自己の役割の理解 ○前向きに考える力
○自己の動機付け ○忍耐力、ストレスマネジメント
○主体的行動

課題対応能力

『仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力である。』この能力は、自らが行うべきことに意欲的に取り組む上で必要なものである。さらに、社会の情報化に伴い、情報及び情報手段を主体的に選択し活用する力を身に付けることも重要である。

具体的な要素
○情報の理解・選択・処理 ○原因の追究
○課題発見 ○計画立案 ○評価・改善

キャリアプランニング能力

『働くことの意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力である。』

具体的な要素
○学ぶこと・働くことの意義や役割の理解
○将来設計 ○選択 ○行動と改善

